

一般質問



議員が市の行政全般について市長等の執行機関に質問します。
QRコードから各議員の質問詳細を動画でご覧になれます。

Q 本市における75歳以上の運転免許証の保有者数と自主返納者数は。

【総務部長】

A つがる警察署によると、保有者数は令和5年末時点で2556人、保有率39・6割。返納者数は令和5年度で51人である。

Q 運転免許証の自主返納者を対象に電動シニアカーの購入費用を助成できないか。

【健康福祉部長】

A 介護認定を受けた方を対象に1〜3割の自己負担でレンタル利用できる制度はある。購入費用の助成については、関係部局などと導入効果やリスクについて話し合い、高齢者のニーズを把握したうえで検討したい。

Q 高齢者1人暮らし世帯の敷地の除排雪支援を善意で行っている市民に対し、何かしらの手当を講じては。

【健康福祉部長】

A 善意で行われている除雪等は作業回数や内容の把握が困難であり、手当等の支給は難しいと考

える。
なお、市による高齢者福祉サービスの除雪支援はおもにシルバ

希少植物の保全

高齢者支援



いつわかい 五和会
なりた 成田
かつこ 克子

人材センターが担っているほか、令和5年度からは車力地区牛瀧自治会が市と業務委託契約を結び、地元の高齢者世帯等に除雪支援をしており、自治会に対し本人負担額に加えて市からも委託料が支払われる。除雪支援を請け負う自治会等があれば随時、相談に応じた

Q 本市に群生する水芭蕉の保全に向けた取り組みは。

【経済部長】

A 希少植物である水芭蕉の群生は本市では唯一、木造地区菰植集落で確認されている。市では保護団体の生育環境保全活動に対し一部助成を行い、水芭蕉の保全に取り組んでいる。

Q 本市における70歳以上の1人暮らしの世帯数は。また、身寄りのない高齢者数は。

【健康福祉部長】

A 令和7年4月1日時点で、70歳以上の1人暮らしの世帯数は3071世帯である。

市では身寄りのない高齢者の人数は把握していないが、つがる市社会福祉協議会によると、何らかの支援が必要とされる65歳以上の高齢者1人暮らし世帯は517世帯である。

Q 集積所までのごみ出しが困難な高齢者に対し、ごみ出し支援を行えないか。

【健康福祉部長】

A 介護認定を受けた方などを対象に、訪問介護員による生活援助として、ごみ出し支援が利用可能である。

【民生部長】

A 市町村が行うごみ出し支援は直接支援型、コミュニティ支援型、福祉サービスの環型の3種類ある。どの形態が本市で最も適切な支援か関係部署と調整しながら、早期にできるよう検討したい。

Q 県が土地と建物を所有する、

つがる警察署旧庁舎

高齢者支援



無党派
はせがわ えいこ
長谷川 榮子

つがる警察署旧庁舎の今後の取り扱いについて、市では情報を把握しているか。

【経済部長】

A つがる警察署に問い合わせたところ、令和6年度に利活用しないことを決定し、土地と建物の売却準備を進めているとのこと。アスベスト調査等を実施したのち、令和8年度に売却される予定である。

Q 解体にかかる費用は。

【経済部長】

A 建物の詳細を把握していないため解体にかかる費用は不明だが、市が実施したこれまでの公共施設解体工事を参考に試算すると1億円程度かかるものと考えられる。

一 般 質 問



議員が市の行政全般について市長等の執行機関に質問します。
QRコードから各議員の質問詳細を動画でご覧になれます。

Q 今年4月、市役所にエネルギー政策課が創設された。本市のエネルギー政策の取り組み内容は、

【市長】
A 日本海沖に建設予定の洋上風力発電事業の推進とともに、基幹産業である農業分野でも脱炭素化の施策を検討する。また、公共施設の照明器具をLED化するほか、公用車にプラグインハイブリッド車を購入予定である。

Q 市内に太陽光発電施設は何か所あるか。また、耐用年数経過後は設備が適切に処分されるよう指導を徹底してほしい。

【総務部長】
A 市が把握している太陽光発電施設は51カ所。令和11年ごろから耐用年数を経過する施設が増加する状況にある。太陽光発電事業者においては、廃棄費用の積み立てが義務化されており、耐用年数経過後は積立金により適切に処分されると考えている。事業者に対し、ルールにもとづき速やかかつ適切に処分するよう指導したい。

Q 建て替えられる木造若緑団地について、太陽光発電設備等を設置する計画はあるか。

【建設部長】
A 駐車場および外構部分の外



いつわかい 五和会 なりた ひろし 成田 博

灯について、太陽光発電一体型の照明器具にする計画である。

Q 本市にある子ども食堂の団体数は、

【健康福祉部長】
A 市が把握している子ども食堂は3団体で、木造と森田、稲垣地区にそれぞれ1団体ずつある。

Q 運営上の留意点は何か。

【健康福祉部長】
A 一般の食堂とは異なり営業許可等の届け出が不要なため、衛生管理に努めることが重要である。子ども食堂を設立する場合には、県が養成する子どもの居場所づくりコーディネーターが運営に関する相談などを受け付けているため、利用してほしい。

Q 選挙投票時に支援の必要な

方のために投票支援カードやコミュニケーションボードを導入しては。

【選挙管理委員会事務局長】
A 市では投票にあたり支援の必要な方がいた場合、選挙事務従事者による人的介助を積極的に行っている。

投票支援カードやコミュニケーションボードについては、7月の参議院選挙からの導入を前向きに検討する。導入した場合、選挙期間前に每户配布する選挙チラシの裏面に印刷して周知したいと考えてほか、各投票所にも設置予定である。

Q 市公式LINEの登録者数は、現在約2800人である。目標とする登録者数と市の取り組みは。

【総務部長】
A 本市の人口の1割強にあたる3千人の登録を今年度中に達成したいと考える。登録者数を増やすため、広報つがると市ホームページに市公式LINE開設についての記事を掲載しているほか、市主催の集会などでチラシを配布し、登録を促している。

Q 市マスコミキャラクター、つがるちゃんのLINEスタンプについて、津軽弁のコメントが

入った新しい図柄のスタンプを作成できないか。また、縄文PRキャラクター、カイトくんとタマキちゃんのスタンプの作成も検討してほしい。

【総務部長】
A 津軽弁のコメントが入ったつがるちゃんスタンプや縄文PRキャラクターのスタンプについては、本市の宣伝につながるため、作成の実現に向けて検討したい。

Q 市公式LINEを多くの市民に登録してもらうため、スマホの操作に不慣れな方を対象にスマホ教室を開催しては。

【総務部長】
A 市公式LINEを利用すると行政情報等を速やかに受信できる。より多くの市民に登録してもらうため、スマホ教室の開催や相談窓口の設置等を検討したい。



無会派 みつはし みづほ 三橋あさみ

一般質問



議員が市の行政全般について市長等の執行機関に質問します。
QRコードから各議員の質問詳細を動画でご覧になれます。

Q 市内にある倒壊危険家屋の現状は。

【総務部長】

A 倒壊危険家屋は4件あり、今年5月に撤去費用の参考となる見積もりを業者から徴取している。今後、見積書と現状写真、撤去依頼文書を所有者に送付し対応をお願いする。

Q 解体されずに長年放置されている事例が見られるが、市では適切に対応してきたか。

【総務部長】

A 所有者を特定したのち、現状写真を添付した通知文を送付し適切な管理を促しているが、連絡のない場合や解体費用を捻出できない等の理由で放置される場合が多く、対応に苦慮しているのが現状である。

Q 倒壊危険家屋に対し行政代執行はできないか。

【総務部長】

A 手続きに相当な時間を要するほか、自ら解体する人との公平性の問題もあるため、緊急性や公益性を十分考慮したうえで検討したい。

Q 今冬のような大雪により、近隣家屋等に危険を及ぼす恐れがある場合の対応は。



空き家対策
倒壊危険家屋

【総務部長】

A 除雪の見込みがない空き家等については、市職員を主体とした除雪チームを編成し個々の案件に対応したい。暴風等で屋根材が飛びそうな場合などには、消防署に依頼しロープによる倒壊防止や飛散防止対策を行う。

Q 空き家の利用を仲介する、空き家バンクの売買実績等について詳細な説明を。

【総務部長】

A 令和6年度末時点で、登録は72件、うち売買されたのは42件である。本市では空き家バンクに家屋を登録すると奨励金を受給できる制度があるほか、空き家に関するセミナーを年に1回開催し、空き家バンクの利用推進を図っている。

Q 本市における令和7年産米の作付けについて、加工用米と備蓄米の対応はどうか。

【経済部長】

A 加工用米と備蓄米の作付けについては、米穀集荷業者と生産者との契約であるため、これまでどおり生産者自らの対応に任せている。

なお、備蓄米については、需要環境が大きく変化しない限り、買入れを当面中止し買い戻しを行わないとの発表が農林水産省から出されたため、作付けされないものと考えられる。

Q ふるさと納税の返礼品としてのコメの実績は。

【総務部長】

A 過去2年間の寄附件数と寄附額は次の表のとおり。
令和6年度の実績は前年度比で寄附件数が約18.4割増、寄附額は約28.0割増と大幅に伸びた。

別表「返礼品としてのコメの実績」

	寄附件数	寄附額
令和5年度	797件	935万1千円
令和6年度	1,468件	2,619万3千円

行政手続き



米価の高騰

Q 寄附実績を増やすための今後の取り組みは。

【総務部長】

A 人気の返礼品であるコメについては、出品に協力いただけ事業者や生産者の情報を収集し、コメの確保に努めたいと考える。コメ以外についても、新しい返礼品の開発やPR方法の工夫などにより、さらに実績が伸びるよう取り組んでいく。

Q 本庁舎設置のおくやみコーナーについて、職員と遺族との会話が玄関ホールにいと聞こえるため、対応をお願いする。

【民生部長】

A おくやみコーナーでは相続等に関する個人情報話が話されており、プライバシーに配慮した運用が必要である。運用状況等を再確認し、最善の対策について検討したい。